

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会 議 の 名 称	令和5年度第2回図書館協議会		
開 催 日 時	令和6年2月16日（金） 午後6時30分～8時30分		
開 催 場 所	茅野市図書館 閲覧室		
出 席 者	矢崎智義委員長、細川美歩子副委員長、北原東一委員、志水琴美委員、田村満利子委員、濱喜一郎委員、前島敦子委員、松岡隆志委員、松木美希委員、両角薫委員、山田教育長、上田生涯学習部長、竹内生涯学習課長、五味図書館長、北澤図書館係長		
欠 席 者	田村満理委員、百瀬るみ委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
教育長	1 開会（竹内生涯学習課長） 2 教育長あいさつ お集まりいただきありがとうございます。午後から寒い風が吹きまして、この会が終わる時にはかなり冷え込んでいると思います。さて、5月にコロナが第5類になりました。学校もだいぶ生活が変わってきて、図書館もコロナ前の状態に戻るよう一生懸命努力しているところです。今日は今年の運営状況についてお話しますので忌憚の無いご意見をお願い致します。 3 審議会の公開について まず初めに、「審議会の公開について」説明をお願いします。 （資料1により、審議会等の公開について事務局から説明） （特に異議はなく、本日の会議について公開とすることを決定） （事務局から、会議の出席状況と傍聴者について報告）		
委員長	4 会議事項 （1）令和5年度図書館運営状況について では最初に「令和5年度図書館運営状況について」ということで、館長お願い致します。 （資料2について、図書館長から説明を行う）		
委員長	「令和5年度図書館運営状況について」ご質問、ご意見等ありますでしょうか。		
委員長	まず私から質問です。先ほど、利用申込登録者数が茅野市の人口比で35.13%という話がありました。この中で実際に図書カードを使っている方はどのくらいですか。		
図書館係長	3年間利用の無い方は登録を削除していますので、頻度は少ない方もおりますが、現在有効な登録者の数になっています。		

委員長	富士見町図書館さんはよく「人口1人あたりの貸出件数が日本一多い」と言われます。原村図書館さんは「住民1人あたりの貸出冊数が長野県の中で1番多い」と言われます。改めて考えてみれば、日本一になるというのはすごいことだなと思います。日本一になるために何か工夫をしたり努力をしたりしているのではないかと思いますし、その要因について分析をしてみる必要があるのではないかと思いますのでいかがでしょうか。
図書館係長	富士見町図書館さんは複合施設ということで、単館の図書館とはまた違い、他の目的で来た人が図書館に行くということもありますし、町の中に書店が無くなったことの影響もあるかと思います。茅野市の場合は図書館もありますけれど、駅にはまちライブラリーがあったり、起業の目的の方にはワークラボ八ヶ岳があったり、市民活動センターがあったり、わりと広い地域の中に施設が点在していて、それぞれの人がそれぞれの場所を利用しているという特徴はあるかと思います。 富士見町図書館さんを細かく分析したわけではないですけど、複合施設がひとつ大きくあってそこに皆さんが集中して多く借りに来られているということで、こちらとは少し有り様が違うのかなという感覚も職員としてはありますが、ずっと日本一ということであれば、職員さんが温かく迎えているだとか、ホスピタリティが素晴らしいだとかきっと何か理由があると思うので、私たちもその点は研究が必要かなと思います。 本についても茅野市図書館では児童書も一生懸命専門的に選書をしておりますが、書店のように何の本でも入れているという訳ではないので、富士見町さんや原村さんとはそういった点でも少し違いはあるのかなとは思いますが、今ご意見をいただきましたので、何が図書館へ足を運ばせているのかという研究は必要だなと思いました。
委員長	私も、いろんな状況がある中で日本一というのはすごいことだなと思ったのですよ。茅野市図書館は人口比で貸出冊数はどのくらいですか？
図書館係長	すみません。正確な数字を手元に持ち合わせておらず、すぐに出てこなくて申し訳ありません。（後日確認：R4年度末人口1人当たり3.96冊）
委員長	わかりました。それでは皆さんご意見をよろしくお願いします。
委員	金沢小学校が読書推進活動で賞をいただいたということで、この間新聞に載りました。永明小学校に続いてたいしたものだなと思っています。 今お話がありましたが、実は私はこの図書館よりも富士見町の図書館のほうが好きでよく行きます。下諏訪の図書館も入りやすいです。諏訪や岡谷や原村さんもある程度は見ました。富士見町さんは本を借りやすいのと、斬新なものが揃っている、CDにしても充実している、こういう点はすごいなと思っています。 旅をしていて駅に降りた時にその街で本屋さんを探したりしていて、図書館協議会の委員としていろんな所へ行って勉強させていただいているのですが、茅野には茅野の良さがあると思いますが、ずっとその中には気が付かない点があるのではないかなと思いますので、私ももう少し勉強して提案をさせていただきたいと思っています。
委員	以前から継続して取り組ませていただいている茅野高校図書委員によるおはなし会ですが、生徒数の減少がありまして、今まで3クラスだったものが今年は2クラスになって、図書委員が1つの学年から4人出てくるような状

委員	態になっています。それが今後も続くのではないかという見込みがあります。 また男女比率も2対1くらいで男子の方が多くなっています。ですので、他の学校と比べて本が好きだから図書委員になるという生徒よりも、空いていたから図書委員になったという生徒が増えてきていて、女子生徒だと嫌だといいいながらも小さい子を相手にするうちに意外と平気で本を読み始めたりすることもよくあることなのですが、男子生徒は苦手だなと思ったままという状況が最近もありましたので、なんとか3回継続していきたいと思うのですが、1人あたり1回の読み聞かせをすると、3回だと2回やらなければいけない子がいたりして、思春期だどうしても人前に立つのは苦手という子も多くて、この先、生徒数が減ってしまえば30分のおはなし会を続けるのが難しいと思いますので、回数を減らさずに時間を短くしていただく等の検討を、毎年生徒が入ってくるタイミングでさせていただければなと思っています。 また、今後茅野高校は富士見高校と合併になるので、それでまた生徒数が増えれば盛り返していけるのかもしれませんが、なんとか回数を減らさずに、毎年様子を見ながら検討させていただければと思いますので、よろしくお願い致します。 私はこの会議に来る前に資料を読み返したりして自分なりに考えたことがあるのですが、富士見町図書館さんの貸出率がすごく高くて、日本で1番というのが何年も続いているというお話がありました。私は富士見町図書館さんが1位になった時に、その仕掛人みたいな司書さんにお会いしてお話を伺ったことがあります。その仕掛人の方は本当に明るい人で、いろんなアイデアをお持ちの方です。私たちは司書なので固い部分もあって、こういう本はだめだとか思うこともあったのですが、そういうタブーを打ち破って仕掛けてきたというイメージがその方から感じられたのですごいなと思いました。 その時はある図書館さんが暗くて、貸出率も悪くて評判の悪い図書館だったということもあり、その図書館にその方をお呼びしてお話を伺おうということになったのですが、私が感じたのは本当にその方は底抜けに明るくて、司書のタブーを破るような、図書館のタブーを破るようなアイデアをたくさん出して、やってきたのだなというイメージでした。 私はその図書館には未だに暗いイメージがあるのですが、茅野市の図書館を考えた時に、皆さん頑張られているのはとてもよくわかるのですが、外からパッと見た時に、可もなく不可もなく、というイメージで、そういうイメージは市民の中でも定着しているのかもしれませんが、市民が求めるものがそこにあるという図書館のイメージとしてはちょっと足りないところがあるのを感じました。 立地的なものや建物の構造などのことは考えても、建て替えたりすることは無理なので、外部の人に1度見に来ていただいて、外部の人は忌憚なく意見を言うので、何かヒントをいただけたらいいのではないかと思います。下諏訪町図書館さんでは確か赤木かん子先生か誰かを呼んだことがあったと思うのですが、例えば赤木かん子先生のように辛辣なことでも遠慮なく言えるような方に来ていただくとか、そんなことを起爆剤にしてイメージがよくなればいいなと思いました。 それから出張おはなし会については、保育園や幼稚園だけ行かれていると思うのですが、できれば学校にも読書週間などがありますので、司書教諭さんや司書さんとお話をして来ていただけたらいいのではないかと思います。 諏訪市ではそのようにして学校図書館に図書館の方が来ていただいて子どもたち向けの催しをしていましたので、せっかくカーテン紙芝居や大型絵本
----	--

委員	などお持ちですので、学校の方にも来ていただけたらありがたいなということも思いました。 今年は「茅野市こども読書のつどい」がありまして、私も参加させていただいたのですが、様々な企画をされていたことを先ほどの説明でお聞きして、何かを大きく変えるためには即効性のあることが必要なのかなと思うのですが、私は久しぶりにできたこども読書の集いが大変よかったと思っています。 私の学校に校内中間教室というところがありまして、よく顔を出すのですが、そこに本がとても好きな生徒がおりまして、見かけると本のお話をします。こども読書のつどいに来た時にちょうどその子がお母さんと一緒に来ていたのに気が付いて、その時にもその子とお話することができました。こういう企画があるということが、運営方針にもある地域の拠り所になる、ということに繋がっていくのかなと思っています。 その子が学校ではなく市の図書館で本のお話できて、お母さんともお話ができて、それによって多様な本の楽しみ方や本への親しみ、あるいは図書館へ足を運ぶきっかけになったのではないかと思います。 あの会には語りもありましたが、飯田さんや荻原先生の前に小さな子どもが集まって、おうちの方もいて、後ろのほうには大人がいて、中学生がいて、本当に小さな子どもから大人までが集まっていたので、これも生涯学習のひとつの形なのかなと思っています。 図書館に来ればいろんな刺激がもらえる、喜びが見つけれれる、あるいはいろいろな人と本を介して繋がれる場所なのだなというのが、私がこども読書のつどいに出させていただいて率直に感じたことでした。 ですので、本との出会いをいろんな形で準備していただいていますので、それをもっと学校と図書館がしっかり連携をとって宣伝していくことが大事なのかなと思っています。 また、私の学校は読書ボランティアの方に月に1度読み聞かせに来ていただいています。その1番の価値は何かというと、ボランティアの方が普段中学生が手に取らないであろうというような本を読んでもくれることや、語りのようなことでもしていただいて、世の中にはいろいろなものがありいろいろな喜びがあるんだという本の魅力を伝えていただけること。ボランティアの方も男性、女性、それに年齢層もそれぞれ違うので、そうした人との出会いというのも子どもたちにとって価値あることなのかなということを思っています。 茅野市の図書館と学校がお互いに支え合いながら進めていかれたらということを感じました。ありがとうございました。
委員	今年は園内で感染症が流行してしまい、図書館の出張おはなし会が中止になってしまったことが本当に残念でした。来年は感染症などが流行らない時期に早めに申し込んで保育園に来ていただきたいなと思っています。 朝読書の見学会も予定されていたのですが、そちらも感染症のために来ていただけなくて、今年、私の保育園では子どもたちが妖怪に興味を持って、妖怪の遊びを展開しましたが、いちばん最初は本がきっかけで、妖怪温泉だとかの妖怪シリーズの本から子どもたちがすごく妖怪に興味を持つようになりました。たぶん図書館にも妖怪の本を探しに来たお子さんもいるのではないかなと思うのですが、先ほど館長さんがおっしゃっていましたように展示をしたり、手に取りやすいところに本があるということがとても大事で、園内でも共有で手に取れるコーナーを作って、子どもたちがここに来れば妖怪の本が見られるようにしました。

	先ほど運営状況の説明をお聞きした時に、せっかく近くに分室があるのに1度も行かれずもったいなかったと思いましたので、来年はぜひ分室も利用していきたいなと思いました。 あとは、やはり読書ボランティアの方が読みに来てくださるのですが、とても良い時間になっていて、子どもたちのなかに暖かい空気が流れて、読み聞かせはいいなと思っています。今は1日保育士体験などの時におうちの方の話を聞くとどうしてもYouTubeなどの動画の視聴の時間が長くなってしまっているとおっしゃる方や、新聞を購読していない方もたくさんいらっしゃって、活字離れが進んでいますが、子どもたちは「本を読んで」と毎朝持って来てくれるので、そういった子どもとの時間を大切にしながら、図書館さんとの関りを増やせるように促していきたいと思います。 私は大学からの参加ですけれど、今日配られた委員長からの提案がとても良いなと思いました。実際にここに書かれている図書館がどういう図書館なのかはまだ全然わかりませんが、こんなにいろいろな特色を持った図書館ならばぜひ行ってみたいなと思いました。 先ほど話題に出た富士見町図書館さんに私は1度行ったことがあります。その時は映画の上映会があって、ちょうど見たい映画だったので友人と行ったのですが、その時に何か富士見町図書館さんの印象が強く残っているかという、そうでもなかったです。 ただ、本に興味がある人たちと話をすると、富士見町図書館さんは良い本が揃っているだとか、あそこはいいよという意見はよく聞きます。私ももう1度行ってみようかなと思いながらなかなか行けていないので、みんなで図書館巡りをしようというのは非常に良いのではないかと思います。 それから、市民館とコラボして何か一緒にやることはできないのでしょうか。市民館で落語をやるという企画が結構ありますし、私の行きつけのお店でもいろんなイベントを企画していて、落語会だとか、ミュージシャンを呼んでイベントをしたりしています。そういったものを図書館の中や、図書館の庭、隣には運動場もあるので、なかなか難しいかもしれないけれど何か常識を破るということを先ほど他の委員さんもおっしゃられていましたように、遊び心をくすぐるような楽しめるイベントを市民館とコラボしたらやれるんじゃないのかなということを思いました。それで図書館の利用率を上げることができたら素晴らしいなと思います。 それから、図書館長からも先ほどご紹介がありましたけれど、大学からは出前講座という形で今年度4つの講座をやりました。この中で私も2つの講座に参加しています。 図書館長が言われていた小学生の子が参加して、一生懸命話を聞いて自分の意見を言っていたというのが、「宇宙を観る」という講座でした。こういった講座に大人の方にもっと参加してもらえたらということを少し思います。全体的にもう少し一般の方、大人の方がこの図書館に足を運んでみたくなるような企画があってもいいのかなと思っています。 ただ他の委員さんのお話にもあったように、おはなし会などのような、小さい子たちに読書の楽しさを伝えるということも大切で、それに対してはこの図書館はすごく力を入れてやられているので、そこから小学校、中学校、高校までどうやって繋げていくか。本や活字やあるいは媒体は違うのかもしれないですけど、図書館という場をうまく活用してもらえるように少しずつ新しいことができれば面白いのかなと思っています。
委員	小学校では、今様々な教科で自分で課題を見つけて、そのことについて調べて、それをまとめて発信していくということが多くなっていると思います。授業の中で図書館の本を使うことも多くて、学校内の図書館にある本だ

	けでは足りなかったりするので、市の図書館からもたくさんの本を借りたりしています。 また、永明小学校が今建て替えをしていますので、建て替えのために3学期は図書館が閉館していて、来週から図書館の引っ越しを始めます。朝読書に子どもたちが図書館の本を使えないので、おうちから持ってくる本もありますが、市の図書館からたくさんお借りしていて、学校の図書館は閉館になっても朝読書は変わらず今まで通り行えています。 今年は4年ぶりにおはなしの部屋が復活しまして、子どもたちが45分間お話にたっぷりと浸る、そんな楽しい時間を持つことができましたので、地域の方々や保護者の方たちに朝の読み聞かせやおはなしの部屋にボランティアで参加していただけたことを、本当にありがたいと思います。 子どもたちは朝読書に集中して取り組んでいて、本当に時間を忘れるくらい、チャイムが鳴ってもまだ読みたいという感じでいますけれども、それと同じことが家庭でできるかという点と難しい部分もあります。 読書を宿題として出したり、読書週間のように親子で読書に親しんでもらうような企画も考えて取り組んではいるのですが、家庭読書の取り組みがまだまだ十分ではないなと思っています。子どもたちは基本的に本が好きですし、お話を読んでもらうことも大好きだなということは感じるのですが、家庭環境が様々だったり、保護者の方も忙しかったりしてなかなか時間がとり難いという現状もありますが、少しでも親子で本に親しむ時間を取ってもらえるように学校でも働きかけをしていきたいと思っています。
委員	おかげさまで読り一む in ちのは今年25周年を迎えることができました。四半世紀に渡って茅野市の読書活動に貢献して来たのかなと思っています。先ほど館長さんからご説明がありました茅野市こども読書の集いというチラシがありますけれど、これはおそらく今年度初めて行っていただいた行事かと思っています。 この中でセカンドブックやファーストブックの展示もしていただいたかと思いますが、こういう時に、例えばファーストブックの展示してある所にメンバーが立って、来ていただいたお客さんに読み聞かせをしたり、ご説明するような機会があれば良かったなと思いましたので、来年度以降こういった取り組みがあるようでしたら、私たちにもぜひ協力させていただきたいと思っています。 私もこの日参加して、講演会も聞きましたけれども、私は聞いていて面白かったのですが、子どもが聞いて楽しめたのかな？ということに疑問に感じましたので、子どもさんが楽しめる方をお呼びして第1部、第2部に分けてやるという方法もあったのかなと思います。 また、読り一む in ちのでは、今年から第5土曜日に楽しいおはなし会を、それから大人のためのおはなし会も1度やらせていただいたのですが、メンバーもだんだん少なくなってきていて、そうしたものに参加できるかどうかだんだん難しいところもあるのですが、せっかく25年続いている読り一む in ちですので、茅野市の図書館といっしょに茅野市の読書活動を進めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。
委員	今回運営状況の報告をお聞きして、以前に比べると着実におはなし会や講座事業などが充実してきているのを感じます。確かに斬新さがない、物足りないところはあるかもしれませんが、地道に進めていくことで結果が出ていくこともあるのではないかと思います。 特に子どもたちに向けたおはなし会ですとか、学校への架け橋になってくださる機会が増えてくると、関わった子どもたちが大人になってからもこの図書館を利用していくための、最初の基礎作りをしていただいているのかなと思います。この先何年か後にそれが芽生えてくることを期待しています。

	私からは具体的に4つお話をさせてください。 まず1つは、今年初めてやっていただいた茅野市こども読書の集いについてです。今他の委員さんからもお話がありましたけれど、私もこれはとても良い企画だったと思います。 先生方の本の紹介や、調べ学習の入賞者のみならず、少し面白いテーマのお子さんの作品も展示していただいていたのでとても楽しかったのですが、1日で終わってしまったのが少しもったいなかったな、せっかくあれだけのものを企画してやっていただいたので、1週間とかもう少し長いスパンで図書館に来館した方が見られるように、来年は考えていただければと思います。 2つ目は、東京理科大学さんの出前講座についてですが、土曜日に開催されるようになったことが良かったなと思います。 私も機会があれば聞きたいなと思いながら行けていませんが、今年は土曜日にやっていたのだなと今思いました。高齢者大学などで多くの方が熱心に受講してらっしゃると聞きます。シニアの方たちの学習意欲が高まっているのを感じますので、理科大さんの教授のお話に興味を持たれて参加したいと思われる方も多いと思います。そのために、もう少しPRの方法や定例として行うことなど、何か考えていただけたらいいなと思います。PRの仕方次第ではないかと思います。 また、子どもたちも専門の先生からお話を聞くことに興味を持つ子もたくさんいるので、難しいとは思うのですが、シニア向けのものもあれば、お子さん向けのものもある、といった具合にいろいろ考えて講座を考えていただき、理科大の講座を充実したものにしていただけたらと思います。 3つ目は、先ほどから富士見町さんや原村さんの図書館のことを含めて、他の図書館のことがお話に出ているのですが、館長さんからお話が合った課題のところ、職員の方の専門性の向上や雰囲気について書かれていましたが、実際に職員の方は富士見町とか原村の図書館さんとの交流はあるのですか？
図書館長	ほぼ交流することはないです。
委員	私も学校図書館を長くやっていて、茅野市でしかやっていないものですから、何年か前に諏訪市の学校図書館の方と交流をしたのですが、やはり自分たちとの違いに気付かされるし、刺激になってよかったんです。具体的に何を取り入れたかという、すぐに取り入れたものはなかったかもしれませんが、とにかく刺激を受けて、良い勉強になりました。 自分自身もそうなのですが、茅野市しか知らなくて井の中の蛙になっているところがあります。同じ仕事でも別な環境でされている方と、幅広く行政や地域の話をするのはすごく良いことだなと今思いました。 ですから、もし機会があれば職員の方も別の図書館のカウンター体験を試みるとか、現場を職員の方が体験するのも良い勉強になるのかなと思います。 最後にもう1つ、この図書館の建物をすぐ改修するのは無理だと思うのですが、例えば入口のすぐ左側が壁ですよね。そうすると、知らない人は大きな白い壁がドンとあるので閉まっているのかなという印象を持ってしまう。もちろん電気はついていますが、そう思われてしまうのはすごくもったいないと思います。入口の雰囲気がもう少し明るく変わればいいなと思っています。もし白い壁が大きくあるなら、夜映画を上映してみることができないかな、もったいないなと思って時々見えています。
委員長	大変貴重なご意見をいただいてありがとうございます。協議会の委員同士のコミュニケーションを増やすとか、もう少し大人向けの事業を増やしても

	らいたいとか、それは私も以前から思っていたのでぜひご検討いただきたいと思います。 他になにかご意見ございますか。
委員	茅野の市民館を 2005 年にオープンする時、最初の設計では図書館はありませんでした。あそこに図書館を作るために、読り一む in ちの皆さんやたくさんの方の力を借りまして作りました。他に行くところがなくて、同じところに座っているような人たちもずいぶんいらっしゃいますが、そういう人たちに図書館へ立ち寄っていただけるような呼びかけを何か考えていただけたらと思います。
委員長	ありがとうございました。入口の左の壁がもったいないという話が出ましたけれども、茅野の図書館がリニューアルした時に、展示のスペースを作ったらどうかという意見を出したことがあります。また、先月のことですが、諏訪中央病院でクラウドファンディングをしました。当初 60 万円を目標に募集をかけたら、1,000 万円をすぐに超えてしまいました。病院に行くと壁にいろんな方からのがんばってください、といったメッセージがたくさんあって、募集する方もまさかそんなに集まるとは思っていなかったのではないかと思います。ですので、クラウドファンディングをやってみるというのもひとつの方法ではありますが、この図書館の 1 番の課題は、本を置くスペースがないということです。新しく本を買ったらその分出さなければいけないような状況です。 皆さんにも 1 度見ていただきたいのですが、古い車のコンテナを置いてその中に本をたくさん詰め込んでいます。何か良い知恵があれば、出していただきたいと思います。
委員長	では、報告事項に入りますがよろしいでしょうか。 5 報告事項 (1) 茅野市こども読書のつどいについて (資料 3 について、課長から説明を行う) (1) 行財政改革プラン 2023 について (資料 4 について、部長から説明を行う)
委員長	6 その他 提案ということで A 4 の用紙を 1 枚お配りしてあります。 コロナのせいもあって視察をすることが今までできませんでした。私はこの図書館のリニューアルの時から関わってきたのですが、リニューアルする際に参考になる図書館をいくつか見ることができました。 今、地域再生に図書館を使うという動きがあります。全国では 10 年前に比べて、約 3 割くらい図書館の数が増えていて、例えば、ある図書館は図書館を核とする複合施設を作り、これは障がい者向け図書館や、プラネタリウムがある科学館を併設していますが、県民の知的好奇心に応えてそれまで利用しなかった層にアプローチし、19 年度の来館者は 100 万人を突破しました。このように、今まで本の貸出が中心だった公立図書館の役割が変貌してきています。少子化と人口流出が進む地方で、地域活性化を担う施設としての役割を期待されて様々な特色のある図書館ができています。

	ぜひ皆さんにもいろいろな図書館を見ていただいたり、図書館を見て回ってらっしゃる方のご意見をお聞きして、実際に見に行くことができれば、参考になるのかなと思います。 リニューアルする時には、滋賀県の図書館行政が盛んで、滋賀の図書館を3つ見て回りました。本だけではなく民具を貸し出していたり、地域の歴史の写真をエントランスで展示していたりしていました。 先ほどの話では、まず原村さんと富士見町さんの図書館を見に行ったらどうかという話もありましたので、なぜそんなに貸出数が多いのか、何を工夫されているのか、お聞きして交流していかなければいけないのではないかと思います。
委員長	それでは、その他に質問があればお聞きをします。
委員	生涯学習課の方から1月にメールをいただいたのですが、生徒の減少やカリキュラムの見直しなどで日課の見直しをしているところで、高校として朝読書の位置付けをどう捉えたらよろしいのかということでお聞きをしています。今日日課だと朝の1時間目の時間の最初の10分間を朝読書に充てています。それは朝読書を学校に取り入れた際、当時学校が荒れていたようで朝読書を授業の前に持って来ると、朝行かなくてもいいやと思って1時間目ギリギリに来るような生徒もいて、朝読書の時間にほぼ生徒がいない時期があったので、1時間目に朝読書を組み込んで、1時間目の授業が始まったら朝読書を10分やって授業をしているのですが、そうすると学科の授業は10分遅れてしまいます。朝読書を朝に限定せず、昼の時間に組み込んでよいのかということを知りたいです。
委員	平成10年に、読り一む in ちのの前身である読書推進協議会とか読書活動推進の会というのを作りまして、私もその役員の1人でした。その時に、ある学校から朝読書をカリキュラムの中に組み込めないといって1年間拒否されたことがあるんです。 学校が荒れていたり、不登校が多かった時代でしたから、それだったら夕方でもどの時間でもいい、子どもたちの心を落ち着かせるために、10分間読書をしてみたらどうでしょうかと言いましたが、最初は拒否されたことがあったんです。説得して2年目か3年目にやっと始まったと思います。 だから、朝とか昼とかはまったく関係ないと思います。ただ、子どもさんが静かに本を読む、先生方も読む、それでみんなの心が落ち着けば、学校運営も違ってくるのではないかなということで私は当時進めていました。今はどうかわかりませんが、どの時間帯でも学校内でやっていただいたらいいのではないのでしょうか。
委員	ありがとうございました。
教育長	小学校や中学校は生徒がちゃんと朝来するという特殊条件があるのです。私が茅野に来る前にいた学校では読書の習慣がなくて、やはり荒れている学校でしたので、読書を取り入れようとしても先生たちに嫌がられました。 掃除が終わった後に読書の時間を取りましたが、あまり効果がなくて、その後朝の時間にしましたが、生徒たちがしっかり読書ができるようになるまでに3年かかりました。 そうしたことがあったので、茅野市の朝読書には本当にびっくりしました。茅野市の朝読書も課題がたくさんあるけれども、今おっしゃられたようにみんなが揃う時間であればどの時間でもいいのではと思います。ただ、先生たちが一生懸命一緒になってやるのが大事だと思います。

委員長	他に何かご意見等よろしいですか。 8 閉会（竹内生涯学習課長） それでは以上をもちまして令和5年度第2回茅野市図書館協議会を閉会といたします。本日はありがとうございました。 ～午後8時30分 会議終了～
-----	--